

札幌の経済

～札幌VSコロナ～

市立札幌旭丘高等学校 チーム名:U

メンバー 本田結子 佐藤豊 倉兼ゆな

1. アブストラクト(研究の概要)

コロナ前・禍中・後の観光客の多い季節を比較し、「コロナ前とコロナ禍は異なる」、「コロナ前とコロナ後は一致する」という仮説を立て、観光客数・イベント実施状況などからその真偽や原因を調べた。その結果、仮説は支持されたがその原因については一考の余地があるものとなった。

2. テーマ設定の理由・背景・目的等

- ①コロナが収まりつつある現在の経済の傾向や観光客数、経済の実態について調査してみたいと思ったから。
- ②コロナが札幌経済へ及ぼした影響について興味を持ったから。

3. 研究方法・手順等

本研究では以下のように定義する。

～2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度～
コロナ前		コロナ禍		コロナ後

札幌市や厚生労働省が公開しているオープンデータより、新型コロナウイルス(以下コロナと表記)による影響が大きかったであろう「観光」に着目し、①来札観光客数 ②札幌のコロナ新規感染者数を調べ、2つの相関を分析する。

4. 仮説I

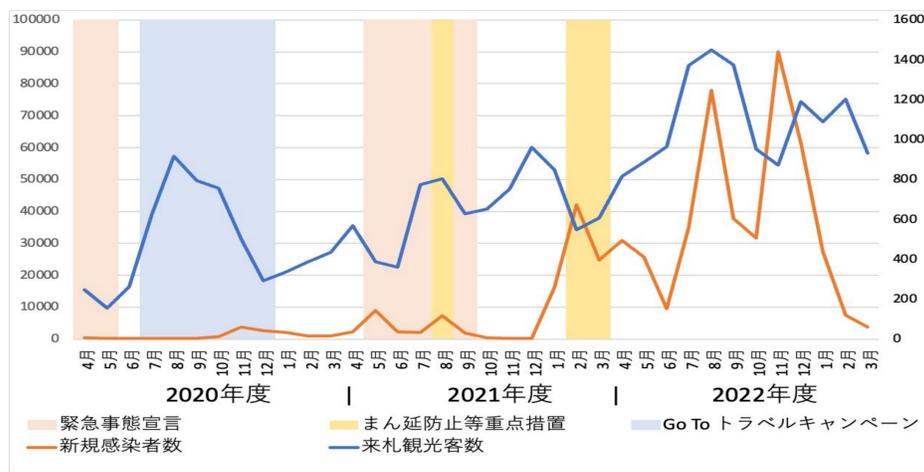
例年行われていたイベントがコロナの影響で中止・延期されたため、**観光客の多い季節がコロナ前とコロナ禍で異なっていた**のではないかと仮説I

仮説II

コロナ後の観光客が多い季節はコロナ前と一致するのではないかと仮説II

5. 研究内容・結果

〈研究1〉「来札観光客状況資料」より、
来札観光客数とコロナ新規感染者数の関係・推移



- この2つの折れ線グラフから、
- ・来札観光客数が多い月から約3ヶ月後にコロナ新規感染者数が増えている
 - ・来札観光客数が増加傾向にあり、札幌に観光客が戻ってきている

〈研究2〉「札幌の観光」調査資料より、観光客からの
知名度が10%以上のイベントの実施状況について

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
さっぽろ雪まつり	2月	○	○	○	×	×	○
YOSAKOIソーラン祭り	6月	○	○	○	×	○	○
札幌初体験メッセ	11-2月	○	○	○	△	○	○
さっぽろ夏まつり	7-8月	○	○	○	△	△	○
さっぽろライラックまつり	5月	○	○	○	×	△	○
さっぽろオータムフェスト	9月	○	○	○	△	△	○

△ = オンラインでの実施・販売/一部中止 × = 中止 *○ = 2023年12月時点では開催予定

- ・コロナ禍ではイベントがオンライン開催や中止の措置が採られた
- ・2020年度と2021年度はイベントの殆どが中止・オンラインでの実施となった

〈研究3〉「札幌の観光」統計調査より、観光客が多い月TOP3

区分	コロナ前		コロナ禍			コロナ後
年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
1位	8月	8月	8月	8月	12月	8月
2位	7月	7月	7月	9月	1月	9月
3位	9月	6月	9月	10月	8月	7月

- ・例年、7～9月の夏場が人気である
- ・2021年度は12月、1月の冬季に観光客が多かった

〈研究4〉2019年度からのコロナに関する時系列

2019年度	
12月初旬	中国の武漢で新型コロナウイルスが確認される
1月15日	国内で初めて新型コロナウイルスが検知される
2月28日～3月18日	道独自の緊急事態宣言
3月9日	中国および韓国からの新規入国が停止
3月13日	新型コロナウイルス対策特別措置法が成立
2020年度	
4月16日～5月31日	国が 緊急事態宣言を全都道府県に拡大 →延長 北海道を含む13都道府県を特定警戒都道府県に指定
5月25日	国が 緊急事態宣言を解除 を決定 外出自粛、イベントの開催制限等は移行期間を設けて段階的に緩和
6月19日	日本の入国制限の対象国が159カ国に拡大、日本への渡航前14日以内に対象国への滞在歴がある入国者に対しては、入国後14日間の自宅待機
7月22日～12月27日	Go Toトラベルの実施
12月28日～	Go Toトラベルが順次中断
12月26日	全世界からの外国人の新規入国を停止
1月13日	ビジネスラック・レジデンスラックを含め全ての外国人の入国停止
2月14日	国内でファイザー製のワクチンが承認される
2021年度	
5月9日～5月31日	国が まん延防止等重点措置 の対象地域に北海道を追加
5月15日	緊急事態宣言に移行 のため、北海道への まん延防止等重点措置 が解除
5月16日～6月20日	国が 緊急事態宣言 の対象地域に北海道を追加 → 緊急事態宣言延長
5月21日	国内でモデルナ製のワクチンが承認される
6月21日～7月11日	北海道への 緊急事態宣言の解除 、まん延防止重点措置への 移行 を決定
8月2日～8月31日	国が まん延防止等重点措置 の対象地域に北海道を追加
8月5日～8月8日	東京オリンピック開催 札幌で競歩・マラソンが行われる
8月26日	緊急事態宣言に移行 のため、北海道への まん延防止等重点措置 が終了
8月27日～9月30日	国が 緊急事態宣言 の対象地域に北海道を追加 → 緊急事態宣言延長
11月8日	入国者の待機期間を3日に短縮 ビジネスや留学、技能実習などを目的とする外国人の新規入国を再開
11月24日	南アフリカからWHOへ最初のオミクロン株感染例が報告される
1月27日～3月21日	国が まん延防止等重点措置 の対象地域に北海道を追加 → 2度の延長
3月1日	観光目的を除く外国人の新規入国が再開 一日の入国者数上限も3500人から5000人に引き上げ
2022年度	
4月10日	一日の入国者数上限が一万人に引き上げ
6月1日	一日の入国者数上限が二万人に引き上げ
6月10日	2年3ヶ月ぶりに観光客の受け入れを再開 (「少人数の添乗員付きツアー限定」という条件付き)
9月7日	「添乗員なしツアー」での外国人観光客の受け入れ再開 全ての入国者に対し渡航前の検査を免除
10月11日	個人旅行の受け入れを再開
2023年度	
5月8日	新型コロナウイルス 5類に移行

6. 考察

- ・〈研究3〉にて、2021年度の記録で12月がトップに躍り出た背景として、〈研究1〉より国からの外出規制策がとられたことで、夏頃に旅行を控えた人々が冬頃に旅行に訪れたのではないかと考えられる。これにより仮説Iが正しかったと言える
- ・〈研究3〉より、コロナ後の札幌に訪れた観光客が多い季節は7、8、9月の夏頃でありコロナ前と一致している。これにより仮説IIが正しかったと言える
- ・〈研究2〉より、コロナ後からイベントが復活しており、2022年から札幌の観光は元に戻りつつあったといえるのではないかと

出典:

観光統計データ/札幌市 <https://www.city.sapporo.jp/keizai/kanko/statistics/statistics.html>

計画・調査レポート/札幌市 <https://www.city.sapporo.jp/keizai/kanko/program/program.html>

次期札幌まちづくりプラン https://www.city.sapporo.jp/keizai/kanko/plan/documents/0502kankouplan_tousin_bessi.pdf

DATA-SMART-CITY-SAPPORO https://ckan.pf.sapporo.jp/dataset/covid_19_patients/resource/b83606f6-3aa2-4e0c-8a1a-509dd36be2ae

Go Toトラベル事業の経緯 [https://dl.ndl.go.jp/view/download/digidepo_12293334_po_1193.pdf?contentNo=1#:~](https://dl.ndl.go.jp/view/download/digidepo_12293334_po_1193.pdf?contentNo=1#:)

訪日ラボ <https://honichi.com/news/2022/12/29/covidtimeline/>

これまでの主な対策等/北海道 <https://www.pref.hokkaido.lg.jp/covid-19/koronasengen.html>